

長期ビジョン（仮称）のめざすまちの姿に係る論点について

1 論点の位置づけ

- ・ 長期ビジョン（仮称）は、時代に左右されない京都のまちの基軸、羅針盤となるものであり、また、今後の政策推進の拠り所となる必要がある。
- ・ 上記の役割を果たすためには、京都が何を大切にし、どのようなまちをめざすのかという座標軸（めざすまちの姿）を一定具体的に定める必要がある。それを導き出すために、これまでに頂戴した審議会委員の御意見や未来共創チーム会議からの提言、特設サイト等で集めた市民等の意見を踏まえ、下記のとおり7つの論点を設定し、第5回総合計画審議会で議論。

2 論点

○論点 1 京都人の生き方や暮らし方をどう受け継いでいくのか

○論点 2 多様な文化との交流が生まれるまちとなるためには

○論点 3 これからの時代における地域のつながりとは（「居場所」と「出番」、行政の役割など）

○論点 4 まちを形作ってきた豊かな自然環境をどう受け継いでいくのか

○論点 5 学問、芸術・技芸をどう深めていくのか

○論点 6 普通の暮らし、普通の幸せを実感できる社会とは

○論点 7 災害や感染症等から立ち直るしなやかさをどう構築するのか